

生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業

～歯と口の健康づくりに関心を持ち

意欲的に健康づくりに取り組むことのできる児童の育成～

本校は山梨県甲斐市の南部に位置し、各学年2クラスの計296名の児童が在籍しています。本校の教育目標である「楽しい学校(楽校)の創造～やる気・こん気・げん気～」や保健目標「心と体の健康について関心を持ち、健康づくりに意欲的に取り組む児童の育成」のもと健康づくりを推進しています。コロナ禍で様々な制限を受けてきましたが、できることから少しずつという姿勢で取り組んで来ました。令和3年度から今年度にかけての主な活動と取組の中間報告です。

【全校での取組】

歯みがきチェック

保護者との連携

コロナ禍において学校で歯の染め出しがしにくい状況にあるために 家庭でタブレットに記録し、親子で児童の口腔内を確認する課題に取り組んでもらいました。これにより児童だけでなく、保護者も巻き込んで、歯磨きの重要性を感じてもらえました。また、こういう取組が家庭での実践として定着できるよう今後も働きかけていきます。



【保健指導】

各学年の教育課程に沿って授業実施

歯と口の健康づくりについて基本的な知識を身につけるための系統的な指導

(例)

- 1年 歯みがきのしかた(歯ブラシの持ち方、第一大臼歯の大切さ) 味覚やかむことの大切さ、受診のすすめ等栄養士との連携による指導
- 2年 歯のはたらき(前歯の大切さ)、かむことの大切さ、受診のすすめ等
- 3年 歯のはたらきとむし歯の原因(小臼歯の大切さ、おやつ等の食べ方) 定期的な受診のすすめ等

学校歯科医とも連携しながら、4・5・6年生も系統的な指導となるよう継続して指導しています。



【児童会や図書館との連携】

児童会：
廊下右側歩行の
呼びかけ



図書室：歯と口の本コーナーの設置

